

木耐協 マンスリーレポート

2022.2
vol.
278

特集

新春オンラインセミナー

第24回 木耐協 全国大会 誌上報告レポート



書斎。地震による共振を避けるために建物と書棚を一体化させている



朝倉彫塑館の外観



アトリエ



屋上庭園



茶心の間

今号の表紙

東京・谷中にある台東区立朝倉彫塑館は、彫刻家 朝倉文夫のアトリエ兼住居を公開する美術館です。1935（昭和10）年築でアトリエはコンクリート造、住居は木造で構造が異なります。朝倉が自らこだわりをもって設計し、ここを「朝倉彫塑塾」として広く門戸を開放して弟子を育成しました。中庭・屋上庭園・茶室等、独自の美意識や教育論が建物に色濃く反映されています。

写真提供：台東区立朝倉彫塑館
<https://www.taitocity.net/zaidan/asakura/>



日本木造住宅耐震補強事業者協同組合



講演

めんどくさい人の接し方、かわし方



落語家 立川 談慶氏

めんどくさいことを 乗り越えることが自身の成長に

慶應義塾大学卒という異色の経歴をお持ちの談慶師匠に、「落語界はとてめんどくさいもの。9年半に及ぶ修業時代には、師匠の立川談志からの多くのめんどくさい事(=無茶振り)があったが、それは全てネタになるものと考えて落語に精進してきた」「めんどくさいことは背負いこまずに巻き込むことで乗り越える。自分を成長させるミッションと捉えることが重要」とご講演いただきました。冒頭から聞き手を惹きつける内容であったという間に時間が過ぎ、最後は落語「つば算」を披露していただきました。

世の中めんどくさいものだらけ

主導権を持ったためのコミュニケーション

立川 談慶 著
「めんどくさい人」の接し方、かわし方
師匠談志と古典落語が教えてくれた (PHP文庫)

こちらもチェック!

開会挨拶

日本木造住宅耐震補強事業者協同組合 理事長 小野 秀男

「コロナ禍も3年目を迎えたが、今年の元旦は良くなる兆し『大吉』という言葉が浮かんだ。書籍『首都直下地震と南海トラフ』(鎌田浩毅著、MdN新書)によると西日本大震災は2030年代、首都直下地震はその前に起こるといふ。地震が起こる場所や大きさは想定されており、人間は受け身だが備えることはできる。今年も耐震社会の構築を共に推進して頂きたい」と、挨拶しました。



2022年1月20日(木)

オンラインセミナーとして開催

▶第24回木耐協全国大会は、昨年に引き続き「新春オンラインセミナー」として開催いたしました。4月より調査結果報告義務が始まるアスベストに関する講演もあり、全国から約280名の方にご参加いただきました。当日の講演内容を誌上報告レポートとしてご紹介します。

国土交通省 挨拶

国土交通省 住宅局 建築指導課 建築物事故調査・防災対策室 対策官

石井 秀明氏



石井様から、「令和3年は住生活基本計画見直しの年。住宅の耐震化率目標については、令和12年までにおおむね解消と定めている。費用負担や所有者の高齢化など様々な課題があるが、耐震化率の向上には地道な活動が必要であり、木耐協組合員の皆様の活動が重要である。引き続き、国の耐震政策へのご協力をお願いしたい」と励ましのお言葉を頂きました。

特集 新春オンラインセミナー 第24回 木耐協 全国大会 誌上報告レポート

講演

まだ間に合う!? アスベスト対策のポイント

(一社)日本アスベスト調査診断協会 理事長 株式会社 本山建設 代表取締役 本山 幸嘉氏

アスベスト対応の実務を 事業者目線でわかりやすく解説

令和2年度の石綿(アスベスト)則の改正に関する変更点の概要や、事前調査の実務について実際の写真や図面を元に、図面で予め年代や導線をまとめておく手法や検体の取得のポイント、さらに報告書作成の手順などをわかりやすく解説していただきました。「4月から始まる事前調査の報告義務対象となる工事は材料費を含めて100万円以上であり、多くのリフォーム工事が対象となるので、調査体制の構築が急務です」と、体制構築の必要性を事業者目線で教えていただきました。

アスベスト診断は日付で管理する!

石綿法規制の変遷

建築物(コンクリート造)に石綿が使用されている部位の例

石綿(アスベスト)対策 情報コーナー
アスベスト関連の情報をまとめたページです。ぜひご活用ください。

<https://www.mokutaikyoo.com/asbestos/>

こちらもチェック!

立川談慶氏の「無理難題な注文は自己研鑽に役立つ」の考え方を基本としてきたが講演本題の内容に通じるものがあり、共感した。落語は面白かった。(サイトウ建築事務所 齊藤様)

受け取り方ひとつで物事を肯定的に捉え、自己成長へとつなげるという談慶師匠の話がとても学びになりました。ありがとうございます。(新創美 知野様)

アスベストについては他のセミナーも参加していますが、今回の講演は非常にわかりやすかったです。(越智産業 西田様)

参加者の声

全国からご参加いただきました。一部をご紹介します!

とても楽しいお話でした。一番「めんどくさい」のは自分自身であることを自覚できました。また、書籍を購入して他者との接し方を参考にさせていただきます。(らいふあーと 齋藤様)

アスベストの講演を聞かせていただきなかなか難しそうな印象です。これから事前調査を行い報告するにあたり、分からないことが多々出てくると思います。そういうときの相談窓口などがぜひあればと思います。(橙工務店 橙様)

アスベストは「大変そう!」という感想につきますが、避けては通れない問題と受け止めました。講習を受けて学びます。(サンクティ 田中様)

永年功労者表彰

対象組合員(50音順)
20年継続在籍して下さっている組合員様を「永年功労者」として表彰しております。

- 石川建設 / 石友ホーム / 石友リフォームサービス / イマージ / 桶庄 / 小澤工務店 / 河原崎住建 / さくら都市開発 / 山立建設工業 / 相互設計工務 / 匠一級建築士事務所 / 東中工務店 / ホームショップいけや / 丸協 / 安江工務店 / 山一ホーム / よしかわビルド / ロビン



▲お送りした感謝状と記念品

木耐協
あれこれ
寄稿

今回は画面越しにお会いしました！

オンラインエリアミーティング開催報告

エリアミーティングを
2年ぶりに開催しました！

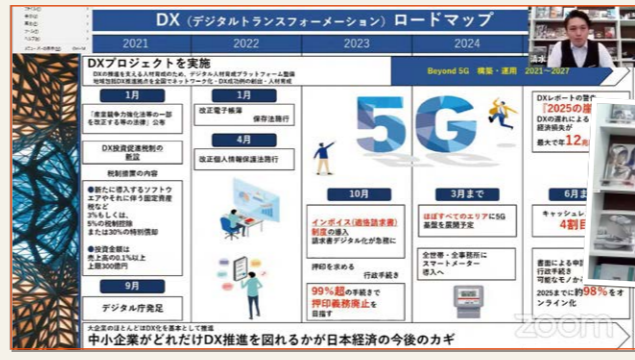
全6会場でエリアミーティングを開催し、全国から約1000人の組合員様に参加いただきました。事務局長の関から直近の木耐協の活動と2022年の活動方針をお伝えし、清水英雄事務所の清水大悟様には2025年を見据えた市況動向や法改正のポイントをご講演いただきました。

参加者には特典として事前に缶ビールとおつまみをサプライズでお送りさせて頂き、オンラインミニ飲み会も行いました。画面越しで緊張されている方も多かったのですが、乾杯をすることでリラックスされ、耐震事業への取り組み・集客方法・アスベスト対応など、日頃悩まれている業務の課題について意見を交わしていただきました。

開催概要
日時 2021年11月~12月 16:00~18:00
会場 全国6会場 (信越・中部 / 中国・四国 / 北海道・東北 / 関東 / 近畿 / 九州)
開催形式 オンライン (Zoom)



参加特典の缶ビールとおつまみ



▲オンラインミニ飲み会！
▲清水英雄事務所の清水大悟様に国の動向やDXロードマップについて解説していただきました。

開催後、多くの感想をいただきました！

- コロナ過の皆様の取り組みなどが聞いて参考になりました。インスタ、フェイスブック、YouTubeなど発信の方法も多様化してきている事をつくづく感じました。
(株)吉田産業 / 青森県八戸市 田村様
- エリアミーティングは双方向で久しぶりの方の顔も見えて、大変良かったです。しかしながら慣れないと少し話づらいですね。
東京住宅設計 / 東京都三鷹市 西村様
- 私のエリアが、ローカル地区で、仕事しています。何事も、遅れています。情報収集を、上手に取り入れて、今後活かしていきたいと思えます。
(株)コダマサイエンス / 鳥取県鳥取市 小川様
- 清水先生の資料は、わかりやすく興味のある内容でした。時間の関係で駆け足でしたが、一歩先に行く内容でした。
東工業(株) / 静岡県沼津市 村木様
- 事務局や他の組合員の方のお話を伺っていると参考にしたいことが多くあり大変刺激になりました。感謝しています。
(有)さくら都市開発 / 静岡県熱海市 原様
- 懐かしい顔ぶれもあり楽しめました。地域を抱えている共通の問題点もあり、エリア組合員同士の交流の機会も今後増やしていきたいです。
(株)市原建設 / 香川県高松市 市原様

今年は10~11月に開催予定です。ぜひご参加ください！

住宅コンサルタント清水大悟が解説！
これから
どうなる？
住宅産業界

▼住宅産業界をとりまく状況は刻一刻と動いています。人々の住まいに関わる住宅産業として、知っておきたい時代の動きを住宅コンサルタントの清水大悟氏に解説していただきます。

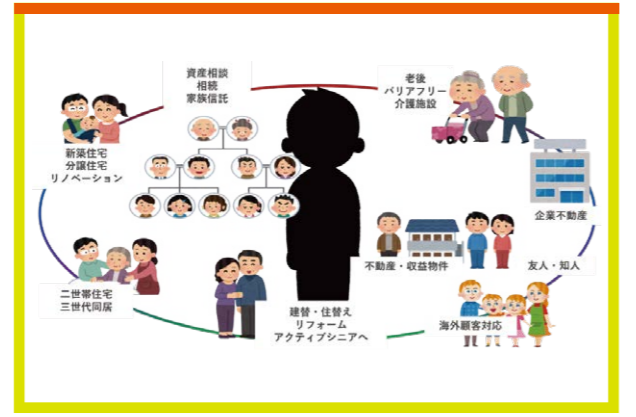
No.06
DXを
始めるなら
顧客管理から

顧客管理は
1日にして成らず

営業&業務効率アップには顧客管理が必要です。顧客情報は、消費者の多様化と少子高齢化、世帯年収の推移や社会構造の変化によって、その見方を大きく変えていかなくてはなりません。

これまでの顧客管理は、お施主様の名前・住所・年齢・家族構成・築年数・工事内容・次回工事時期等がメインでした。しかし、DX(デジタルトランスフォーメーション)の時代ではデジタルツールを利用することで営業効率・顧客情報が多角化し、更なる営業効率のアップに繋がります。これからは1人の顧客から様々な展開を広げることが可能となります。血縁関係にある親族のみならず、法人や友人・知人まで範囲を広げてマーケティングを行うには、顧客管理にメスを入れることが重要です。

顧客管理の整理が出来ていない方は、Excelやアプリケーション、基幹システムを活用して整理することが第1歩です。次に、顧客情報の収集スキームを組みましよう。DXと言っても接客時ヒアリング・アンケートなどのアナログも重要で、さらにWEB問い合わせの際のアンケートやSNSでの収集も大切です。DXは情報が整理されてから本領発揮ですから、早い段階での見直しをお勧め致します。



〒114-0011 東京都北区昭和町1-9-18 ☎03-3810-1565
清水英雄事務所WEB > <https://au-shimizu.co.jp/>
雨と太陽で暮らす家。On The Spotコンソーシアム > <https://ots.amehiconso.jp/>

プロフィール

清水 大悟
事業・経営コンサルティング
清水英雄事務所株式会社
マネージングディレクター
Twitter, InstagramなどSNSで情報発信中

「350mmの法則」その2

1,750mm

なら、クローゼットは断然使いやすい!

パイプを2段使いにすると、
約1,750mmの高さでもアイテムごとに収納可能!



写真提供: LIXIL ヴィータス パネル LIXIL

前 回は身の回りにある生活用品が、高さ350mm(1スパン)を基準にすると収まりやすいことをご紹介しました。今回はこの「350mmの法則」を使った、新発想のクローゼット収納をお伝えします。

一般的なクローゼットは、約1800mmの高さに枕棚とパイプが設置されただけのパイプ1本に頼りすぎた収納になりがちです。実はハンガーにかけた衣類も「350mmの法則」で収めることができます。上記の写真は1750mm(5スパン)の高さにしたクローゼットの収納するアイテムに合わせて、高さをパイプで2分割にすることで、クローゼットの使い勝手が向上します。空間をムダなく使い切り、どこに何があるか一目瞭然となります。そのため、コーディネートにかかる時間の短縮にもつながります。

ハンガーに衣類をかけたときの寸法を写真にまとめています。是非収納提案にお役立て下さい。

住まい方アドバイザー養成講座のご案内



受講生の9割以上が、住宅のプロ(建築士・住宅営業・工事担当者等)です。講座では、「住まい方」から住空間の提案をできるように具体的に伝授する為「すぐに仕事に反映できた」「売り上げがすぐに伸びた」と好評です。詳細は同封のご案内をご覧ください。



近藤 典子

住まい方アドバイザー
株式会社近藤典子Home&Life研修所 取締役
「近藤典子の暮らしアカデミー」校長

メディアや講演会、同取り監修など幅広く活躍。ハウスメーカーと暮らし方を具体的に表現した住宅は、「グッドデザイン賞」を受賞。「住まい方アドバイザー養成講座」を現在オンラインで開催中。発売中の収納商品「ヴィータス パネル」/(株)LIXILをはじめ、企業との商品開発も多数。

住まい方アドバイザー
近藤典子が伝授

受注力アップ!

「数字」で伝える
収納の提案力
向上講座 Vol.02

2022年

2月号

第5回

「木造住宅の耐震診断と補強方法」のポイントを解説!

木耐協
技術部の技術通信

耐震診断の方法をまとめた日本建築防災協会発行「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」とホームページで公開されている「質問・回答集」の中で、抑えておくべきポイントを取り上げてご紹介します。

適用範囲 第3章 一般診断法<概要> Q3.1、2 (p.4)

Q 一般診断・精密診断とも接合部の詳細や壁仕様の確認について、部分的に撤去しての確認が必要なのか。またその場合の調査数の目安はあるか。または全骨組の調査が必要か。

A ①一般診断は非破壊による目視調査が基本で、外観、床下・天井裏から調査を行うことが原則。
②精密診断では全骨組調査は基本。やむなく未確認で診断した場合は「耐震補強工事時」に確認が必要。

■ 考察

一般診断は「現況把握」が目的で、補強への入口という立場だと思います。従って、外観、小屋裏・天井裏や床下などからの目視調査(非破壊)でよしとしているようですが、精密診断の場合は「補強ありき」として全数調査による「確定された情報」が必要なのだと思います。例えば壁仕様が目視や打診で確認できても、その健全性(劣化程度)は確定できないという場合もあると思います。

さらに精密診断については、未確認による「類推」等で診断した場合は、補強工事時に調査・確認をしないと精密診断とは言えなくなることを建築防災協会が述べており、厳しい条件だと思います。

適用範囲 Q3.3 (p.4)

Q なぜ建物上部と基礎を一緒に評価しないのか。

A ①上部構造についてはこれまでの研究(実験を含む)により、耐震性の定量化の方法がほぼ確立されてきたために評点(数値化)で表す。
②地盤等は現時点では耐震性の定量化ができていないため、注意事項として記述する。
③上部構造をいくら補強したところで基礎・地盤が弱いと大きな被害を受けてしまうため分けて評価をする。但し、基礎等が上部構造に与える影響は考慮されている。

■ 考察

①は阪神・淡路大震災後、精力的に研究がなされ(研究者も増加)、多くの新たな知見が増えてきたので異論のないところではないでしょうか。また、②については、地盤等はその性質上、実大実験を行うのが難しく、理論先行にならざるを得ない側面があります。

上下を分けて評価する理由は、むしろ③にあるのではないのでしょうか。数値化しやすい上部構造については数値化して評価し、基礎の状態が上部構造に与える影響は、「基礎構造」や「劣化」の評価し、柱脚接合金物性能への影響として調整する(柱接合部による低減係数)というのは、見事な方法だと思います。

このように考えると、基礎の状態・劣化程度により上部建物への運動があります。基礎以外の地形・地盤は評点と直結していないと思われそうですが、その点が③の回答表現となっているのだと思います。

今月のテーマ

「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の質問・回答集 ②

今月のポイント

一般診断と精密診断の違いをチェック!
建物上部と基礎を分けて考えるが建物上部に基礎の影響を考慮

木耐協技術部 | 駒井隆広



年末にしばらく休んでいた趣味のロードバイクを再開し、今年は「100kmの壁」超えを目標にしました。まずは、体力作りとして荒川サイクリングロードを走りに行きます。皆様の今年の目標も聞かせてください。

→ 技術的な質問や相談をお送りください

Mail mts@mokutaikyo.com

Tel 048-224-8316 (木耐協事務局)

mont·bell が提案

アウトドアを楽しみながら防災力アップ

災害時など、いざという時にも役立つアウトドアの知識・経験。総合アウトドアメーカー「モンベル」が提案する気軽に取り入れることができる防災を、全8回でお届けします。

Vol.002

今月のテーマ

楽しみながら備える雪対策・アウトドアの重ね着の知識

(レイヤリング)

近年、全国的に雪が降る回数や量は減る傾向にあるものの、一晩で一気に降るような大雪による雪害リスクが高まっています。雪国でない地域では、対策としてまず雪に慣れることです。冬の休日には家族でスノーレッキングなどを楽しみましょう。雪だけでなく、スノーショベルやスノーシューなどの道具に慣れておけば、突然の大雪にもあわて

ることなく、余裕を持って対処できるようになります。

また、アウトドアウェアは、キャンプ・登山等のアクティビティを楽しむために作られているため、機能性に優れています。快適に行動するためには、アウトドアの重ね着(レイヤリング)の知識が役立ちます。

◆スノーフィールドで雪や道具に慣れましょう!



スノーシュー

雪の上を歩行するための道具。深い雪でも足が沈み込まず歩きやすい。



チェーンスパイク

冬の低山歩行で用いるアイゼン。ブーツの上から簡単に装着できる。



靴底用滑り止め

凍結した雪道や濡れた木道の上を歩くために靴に着ける簡易滑り止め。



スノーショベル

土を掘るためのショベルでも除雪は可能だが、スノーショベルは1回に多くの雪を運べる。

◆アウトドアの重ね着(レイヤリング)の知識

気温・運動量に応じて脱ぎ着し、体温調節する事で快適に行動することができます。①ベースレイヤー(肌着)②ミドルレイヤー(中間着)③アウターレイヤー(上着)があり、気温が低い時は、この3つを重ね着することで保温力を高めることができます。



アウターレイヤー

雨・風・雪などから体を守る

ミドルレイヤー

保温性を確保しながらウエア内をドライに保つ

ベースレイヤー

汗を素早く吸水・蒸発し汗冷えを防ぐ

詳しくは、モンベル「レイヤリングシステム」
→ <http://www.montbell.jp/generalpage/disp.php?id=507>

今回のおススメ

『スーパーメリノウール M.W. ラウンドネックシャツ』



価格:
Men's用.....7,480円(税込)
Women's用.....7,040円(税込)
着た瞬間から暖かい、天然の吸湿発熱素材ウールを使った中厚手のアンダーウエア。優れた保温性とストレッチ性で日常～スノースポーツまで幅広く活躍。

mont·bell 株式会社 モンベル

大阪に本社をおく1975年創業のアウトドア総合メーカー。全国に130の直営店舗があり、登山・キャンプ用品の他、自転車、カヌー、トラベルなど幅広いアイテムを企画・製造・販売。社会活動の一つで1995年阪神・淡路大震災の際に「アウトドア義援隊」を立ち上げ、有事の際には、モンベルクラブファンを通じてテントや寝袋などを被災地に届けるなどの災害支援活動を行っている。

暮らしの中の防災

<https://www.montbell.jp/generalpage/disp.php?id=212>



モンベルオンラインショップ

<https://webshop.montbell.jp/>



地震! その時 城が動いた

其ノ式

帰雲城

岐阜県大野郡白川村



木耐協 片山秀樹
全国500以上の城を巡り、城郭検定2級を保有する自他ともに認める「城マニア」

▼様々な城を巡っていると城が消滅する理由は、おおよそ3つある事が分かりました。
1つ目は、敵に攻められて落城
2つ目は、落雷による火災で焼失
3つ目は、地震により崩壊
▼地震により崩壊した城はいくつもありますが、城下町ごと戦国大名と一族が滅亡した城を紹介しましょう。その城は、合掌集落で有名な白川郷から南に約10キロの所にあつた帰雲(かえりくも・きうん)城です。
▼一五八五年に発生した天正地震で、城下町の東にある帰雲山が山体崩壊を起こしました。そして、城下町の民家三百件余りと、帰雲城、城主の内ヶ島氏とその一族・家臣5百人余りが一瞬にして埋没し消滅、滅亡しました。
▼天正地震は、若狭湾から三河湾上にある活断層(阿寺断層、庄川断層、養老断層、伊勢湾断層)が動いた日本史上でもまれにみる大型の地震でした。
▼内ヶ島氏は、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康に仕えた金森長近(飛騨高山藩主)の家臣であり、巨額の黄金を手に入っていたとされ、城周辺には文字通り埋蔵金が眠っているとも言われています。
▼地震の被害状況から、天正地震の規模はマグニチュード7.9〜8.1、震度6〜7の烈震だったと推定されています。
▼地震によって人生や命運・歴史が変わるのは、昔も今も変わりませんね。悲劇を繰り返さないように日々お客様に耐震補強を提案していきましょう。



▶白川郷から国道156号線を南下すると、帰雲城埋没地の看板が出てくる。
▶天正地震では、清州城・岡崎城・長浜城など近隣諸国の城も崩壊した。
▶帰雲山を遠方から見ると、約400年前の山体崩壊の跡が、現在でも残っている。



▶城跡跡。後ろに見える帰雲山が山体崩壊した事で、城下町と帰雲城主の内ヶ島氏が滅亡した。

News & Topics

<アスベスト規制強化関連トピック> 「石綿事前調査結果報告システム」の操作に慣れましょう!

4月1日以降の解体・改修工事を対象としたアスベスト(石綿)の事前調査結果の報告義務化について、報告は、原則として「石綿事前調査結果報告システム」から電子申請が必要です。厚生労働省では、システムの運用開始(3月中予定)に先立ち、操作に慣れるためのユーザーテストが2月18日まで行われていますので、操作マニュアルを確認しながらシステムを操作してみましょう。

石綿事前調査結果報告システム (ユーザーテスト実施期間:2022年1月18日~2月18日)
<https://www.ishiwata-houkoku.mhlw.go.jp>





絵画と人生が交差する
6つの物語

Book

『常設展示室』

今号の理事長オススメはこの一冊！



原田マハ氏は、やはり凄い。今回は世界的に有名な6枚の絵にまつわるストーリーをつむぐ6作の短編集です。1作目の「群青」に始まり、全く別の物語でありながら徐々に盛り上がり、6作目の「道」では不覚にも泣いてしまいました。本を読んで泣くのは久しぶりですが、泣くという行為自体は心の浄化ですから、何か浄化しなければならぬものが心の中に在るのかと自問してしまいました（素直じゃない？）。

さて、6枚の絵のそれぞれの画家はピカソ／フェルメール／ラファエロ／ゴッホ／マティス、そして東山魁夷と、何れ劣らぬ巨匠ばかりです。

正直に言って、これまで「アート」とは関わりの薄い人生を送ってきました。しかし歳を重ね、四季の移ろいを肌で感じ、生きとし生けるもの全てに慈しみを持つようになつてくると、今まであまり気に留めなかった「アート」にも興味が湧くから不思議です。その証拠に、高齢者が3割のこの国では美術館はいつでもどこでも人で溢れています。しかしその大部分は喧伝される「特別展」であり、それも良いけれど、実は各美術館自体の「常設展」こそ観て欲しい！との作者の想いから出たのがこのタイトルの意図だと受け取りました。

113
冊目

『常設展示室』
著者／原田マハ
発行／新潮文庫
価格／550円(税別)

人は誰も興味が無いものには見向きもしないものです。それでも何かのきっかけで興味を持ち、知れば知るほどその世界にはまり込み、すっかり虜になる事もよくあることです。ソクラテスは知ることの意味を説いた「無知の知」で有名ですが、弟子のプラトンのそのまた弟子のアリストテレスは「人間は知る事を欲する」と言いました。それは裏を返せば、知る事を求めない人が居るとすれば、その人は人間として完成度が低いと言わざるを得ません。知の巨人にはなれなくても、年齢相応の分別と教養は身に付けたいと思う今日この頃です。

事務局通信

●編集後記●
本後記は、年初、関東で大雪となった日に書いています。今号のメンバーのアウトドア防災のテーマも雪対策です。年末年始は日本海側が大雪だったのに他人事で、たぶん大丈夫とゆったり構えていました。自然災害は油断せず、いつでも来るとして備える必要がありますね。(渥美)

2022年の耐震技術認定者講習会日程が決まりました

耐震技術認定者講習会は、会場での対面開催と、パソコンで期間内ならいつでも受講いただけるeラーニングの2通りで開催いたします。お申込開始時期が異なりますのでご注意ください。本講習会で考査試験に合格された方は、「耐震技術認定者」(木耐協の認定資格)の資格証を発行いたします。

【対面】2022年は、東京・大阪で開催します

	開催日	エリア	会場	お申込み開始
1	3月4日(金)	大阪	新大阪丸ビル別館	1月12日(水) 13:00
2	3月10日(木)	東京	エッサム神田ホール1号館	
3	9月9日(金)	大阪	新大阪丸ビル別館	7月8日(金) 13:00
4	9月15日(木)	東京	エッサム神田ホール1号館	

【eラーニング】

	受講期間	お申込み開始
第1期	2月3日(木)～3月17日(木)	2月1日(火) 13:00
第2期	4月27日(水)～6月16日(木)	4月25日(月) 13:00
第3期	8月4日(木)～9月15日(木)	8月2日(火) 13:00
第4期	11月4日(金)～12月15日(木)	11月1日(火) 13:00

※日程等は変更になる場合があります。ホームページ等で最新情報をご確認ください。

発行●国土交通大臣認可法人 **日本木造住宅耐震補強事業者協同組合**
発行人●小野秀男 編集●関 励介、伊藤健三、渥美寿子
所 在●東京都千代田区麹町2-12-1グランアクス麹町7F tel 03・6261・2040 fax 03・6261・2041

木耐協メーカー賛助会員様からのご案内

窓から考える耐震リフォーム

大きな窓もそのまま、外から耐震リフォーム



体感ショールーム(品川)、ショールーム名古屋 展示中

耐震補強フレーム
FRAME + G2
(フレームプラス G2)



耐震補強フレーム
FRAME +
(フレームプラス)

「断熱+耐震」性能向上リノベーション



体感ショールーム(品川)展示中

樹脂窓×耐震フレーム
FRAME II (フレームII)



施工中

YKK AP株式会社 商品に関するご相談・お問い合わせ、カタログのご請求は
「耐震商品」お問い合わせ窓口 ☎ 0120-4134-30
●受付時間/月曜～土曜 9:00～17:00(日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)



※この商品は事前に、耐震診断および耐震補強設計が必要となります。※「フレームプラス」の設計・施工は、技術認定講習会(YKK AP株主催)の修了が必要です。

組合員さん
～事務局員がおじゃまします～
こんにちは!



▲ショールームでは、丁寧なヒアリングを実施されています

▲匠(たくみ)の職人達

株式会社 匠和美建様

(佐賀県佐賀市)

今年創業27年を迎える匠和美建(しょうわびけん)様は、本社がある佐賀市と福岡南(筑紫野市)エリアに地域最大級となる、見て触れる体感型ショールームを構築、リフォーム業に取り組みされています。松本社長に事業を継続していく上で重視していることを伺いました。

実物に触れて、違いを体感するショールーム

ショールームには、アドバイザーが常駐し来店されたお客様を応対されています。システムキッチン・ユニットバスなどの水廻りの住宅設備機器や外壁塗装ブラスもあり、カタログでは分からない、質感や色合い、大きさなどを触って、比較・体感できます。リフォーム費用も工事費込みの金額を分かりやすく明記されています。

職人を「匠の職人達」と名付け、自社専属とすることで高品質なリフォームを低コストで実現されています。お客様の家を自分の家族の家のよう、という意識で行われる丁寧な施工がお客様にも喜ばれています。

物ではなく

「満足・夢・健康」を売る

「喜ばず」を企業理念に掲げ、「お客様」「匠和美建スタッフ」「職人」の三方良しの精神で、社会に役立つ企業を目指されています。特に重視されているのがお客様との事前打ち合わせです。

「打合せでは、お客様の要望を伺うだけではなく、家で実現したいライフスタイルを見つけることから始まります。リフォームを通じてお客様の想いを形にすることを目指し、心地よい生活空間を家族と分かち合う喜びを感じていただきたいと考えています。」と、松本社長。スタッフはそうしたお客様の喜びのために仕事に取り組み、職人は妥協のない仕事を追求する喜びを感じることで、三者の喜び(三方良し)を実現されています。

「これからもお客様のご期待に応えられるように一生懸命に努力してまいります」と、今後の抱負を語っていただきました。



▲代表取締役 松本直也 様



▲匠和美建スタッフ様 集合写真

「地域顧客満足度 No.1」を目指した結果、佐賀・福岡南エリアの「LIXIL リフォームコンテスト」で7年連続トップを受賞されています。私も耐震事業のサポートを通じて、お役立ちできるよう精進して参ります。(事務局/平井)

